

# 町民と共に歩む町議会をめざして

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎える事とご拝察申し上げます。

昨年は、まさしく歴史に大きく刻まれる東日本大震災をはじめ大型台風など、日本各地に大きな被害をもたらしました。こうした状況の中でも、先々に希望を持ち、一生懸命がんばっている姿に涙と感動が絶えませんでした。

昨年1年を表す一文字に「絆」が選ばれましたが、この様な時代だからこそ大事にしたい言葉であり、おもいでもあると思います。

東日本大震災では、当町においても津波による漁業被害や風評被害による観光への打撃を受けました。

議会では町とともに、国や道、関係機関にあらゆるルートで支援などをお願いしてきたところです。

また、11月に観光庁長官が来町した際には多くの意見交換もさせて頂きました。しかし、観

光のみならず各産業において、依然厳しい状況が続いている事から、議会としても積極的な取り組みを行って参りたいと思っております。

今回の大震災では防災無線に関する反省が多く出された事から、昨年7月、議員全員で防災無線の先進地である、せたな町を訪問し勉強して参りました。

いざという時に重要な情報を全町的に伝える重要性を再認識し、戻りましてから早速、防災行政無線としての運用と洞爺地区を含めた全町整備について、町へ申し入れを行いました。その事から、10月から月2回、本町地区と温泉地区で行政情報の発信が試験的に開始されたところであります。

住民の安心・安全は、議会においても重要な課題のひとつであります。

現在、町では防災計画の見直しが行われておりますが、有珠山噴火災害だけではなく、各種災害に強いまちづくりのためにも、議会としてしっかりチェック

クして参ります。

当議会では議会改革の一つとして、議員と町民が直接対話できる場を設けるべく、1昨年から3月の「議会報告会」、10月の「議会懇談会」を実施しております。徐々にはありますが参加者も増えており、活発な意見交換がなされております。

本年においても引き続き開催して参りますので、多くの町民の皆様にご参加を頂き、ご意見・ご要望をお寄せ頂きたいと思っております。お寄せ頂いたご意見・ご要望はしっかりと町政に反映して参りたいと思っております。

今後とも議会が町民の皆様にとつて、もっと身近なものとなるよう、議員一丸となり取り組んで参りますので、本年も議会に對しまして変わらぬご指導を賜りますようお願い申しあげます。

この1年が平穏であり、皆様にとつて良い年であるようご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



町議会議長 千葉 董

# 明けましておめ